

## 第28期第2回常任理事会議事録

日 時：1994年9月12日 13時30分～16時50分

場 所：気象庁内日本気象学会事務室

出席者：松野，関口，磯部，大西，小倉，斉藤，里村，  
竹内，田中，永田，中村，藤谷 以上12名

### 議 事

#### 1. 第28期第1回常任理事会議事録の確認

原案どおり承認。

#### 2. 各委員会からの報告及び審議

庶務…後援名義等使用許可4件

第9回大気と科学公開シンポジウム：学術  
会議同シンポ組織委員会主催，詳細未定  
気象・海洋のデータ同化に関する国際会  
議：WMO 主催，95年3月，気象庁講堂

第10回北方圏シンポジウム：紋別市主催，  
95年2月，紋別市

秋季シンポジウム：海洋理工学会主催，94  
年10月，電気通信大学

- ・気象学会第28期役員登記完了
- ・総合印刷が倒産。気象集誌および秋季大会  
予稿集の印刷を入札第2位の業者に変更し  
て再契約した。集誌は第4号からUAP，予  
稿集は日本印刷。

会計…1994年7，8月の収支状況を報告。収入，支  
出とも順調。

- ・総合印刷倒産に伴う印刷業者の変更によ  
り，240万円程度の出費増が見込まれる。各  
担当は経費の切り詰めに協力を。

天気…9月号の内容及び10，11月号の予定を報告。

- ・82年から92年の著者名索引を準備中。学会  
BBS にも入力する。

気象集誌…印刷業者が変わったが，第4号は20日  
ほどの遅れで発行予定。第5号の予定を報  
告。TOGA/COARE 特集号に対し30編程  
度の投稿あり。

- ・集誌の編集補助の人が11月で退職予定。後  
任者の推薦を募集中。

研究ノート…今期の編集委員の調整中。

講演企画…8月26日に秋季大会のための委員会開  
催。311件の講演申し込み。10数件について  
内容を検討し，第2種から第1種講演へ移  
した。

- ・講演件数の増加に対処するため，委員会で

講演申し込み規定を見直した。口頭，ポス  
ターとも1講演者につき1件以内とする。  
第2種講演については，申し込み時に投稿  
予定誌名を明記することも条件に加える。  
95年春季大会で試行し，その結果をみて対  
応を決める。以上について常任理事会とし  
て了承した。

- ・大会発表について常任理事会として若干の  
議論をおこなった。第1種，2種の仕分け  
を講演企画委員や座長の判断で行うことの  
是非，ポスターセッションの活性化，ポス  
ターと口頭の振分けの基準などについて意  
見が出された。

教育と普及…夏季大学が無事終了。受講者アン  
ケートによると評判も良い。受講者が多様  
になり，講義レベルに対する希望も多様化。  
気象庁を会場にすることの問題，先着順の  
受付方法などについて委員会で議論したと  
の報告。

国際学術交流…5件の応募があり，9月に委員会  
を開催して審理の予定。

- ・10月の中国気象学会70周年記念会合へは松  
野理事長が出席。

各賞…日産研究助成金に2件を推薦。

パソコン通信…7，8月の着信件数602件。

- ・月刊誌「ONLINE TODAY JAPAN」から  
学会 BBS についての取材申し込みがあり，  
担当理事が対応する予定。
- ・学会 BBS も開設4年を経過したため，メ  
ニュー等を改装したい。10月理事会で承認  
されれば年内改装を行う。

その他…(理事長)水文・水資源研連から学術会  
議研連委員の推薦依頼があり，武田会員(名  
古屋大学，留任)を推薦した。

- ・(理事長)学術会議 WCRP 専門委員4名の  
推薦依頼があり，住(東大)，花輪(東北大)，  
安成(筑波大)，時岡(気象庁)の各氏を推  
薦した。

- ・学術会議気象研連委員9名を推薦する件。  
現在の委員の大多数が上限の3期連続と  
なっていることから大幅な交代となる。理  
事長と総合計画担当の木田理事から提案の

あった原案を常任理事会として大筋で了承、最終決定は理事長と木田理事に一任。

3. 会員の新規加入等について  
個人38名の入会を承認、団体3の退会を報告。
4. 各委員会の構成について  
気象研究ノートを除く委員会の構成を承認。
5. 堀内基金奨励賞、奨励金受領候補者に対する投票結果について  
堀内基金奨励賞候補者推薦委員会から推薦のあった津田敏隆会員(京都大学超高層電波研究センター)について全理事による投票を行った結果、全理事27名の投票があり、有効投票数の3分の2以上の賛成で津田会員を受賞者とすることを決定。  
奨励金受領候補者推薦委員会から推薦のあった前田宏(気象協会福岡支部)、石原昭史(長野地方気象台)、裏川一雄(埼玉県南教育センター)の3会員について全理事による投票を行った結果、全理事27名の投票があり、有効投票数の3分の2以上の賛成で3会員を奨励金受領者とすることを決定。
6. 第28期評議員の選任について  
前回常任理事会で推薦のあった候補者についてご本人の意志確認を行った。5名から承諾を得たが、

辞退者も2名あった。

確認がまだ取れていない人も含め常任理事会として候補者の議論を行い、再度、理事が手分けして残り5名の候補に就任依頼することとした。

7. 新規の委託研究について  
海洋科学技術センターから委託研究として「海洋観測ブイネットワークの配置に関する研究」を受託する方向で調整を進めている。研究代表者は住会員(東大気候システム研究センター)。当該研究の気候研究に占める意義などについて議論があり、気象学会として受託することを承認。
8. 科学技術系人材確保のための方策に係わる検討について  
標記の中間報告が科学技術会議科学技術系人材部会から学会宛に送付されてきた。科学技術を身近にとらえるための多様な機会の提供、教育の場における創造的探求心の育成、人材確保と能力発揮のための方策などについての提言をまとめたもの。学会として何か意見があれば文部省まで連絡するようとの依頼であるが、特に気象学会として意見を述べることはしないこととした。